

第37回日本フィッション・トラック研究会実施報告 安間 了

第37回日本フィッション・トラック研究会は、2013年2月23日（土）、24日（日）の両日に渡って、筑波大学総合研究科棟A棟の講義室にて開催された。今年度は研究会で例年行われている通常のセッションに加え、筑波大学プレ戦略イニシアティブ「西アジア文明研究センター」の共催とESR応用計測研究会・ルミネッセンス年代測定研究会の協力のもとに共通テーマセッション「考古学との連携」を開催した。あわせて12件の一般講演と、8件の招待講演が二日間にわたって行われた。また飛び入りのポスター発表が5件あり、コーヒープレークの合間にも議論をおこなう格好の場を提供した。研究会には下記の53名の出席があり、活発な議論が交わされた。1日目は一般セッションにあてられた。それぞれの講演者からは最新のテーマとデータが提供され、質の高い議論が行われた。また、学生さんにも多数発表していただいたが、それぞれまとまった質のよい発表であり、若い研究者が育成されていることが実感された。共通セッションの開催もあり、2日目の参加者の2/3は非会員であった。さまざまな考古年代測定法をカバーする講演があり、踏み込んだディスカッションが行われた。各種の年代測定法の基礎と問題点がそれぞれの専門を超えて共通認識されたこと、関連研究会と交流が深められたことがとくに有意義であった。1日目の夕方は懇親会が行われたが、30人以上のさまざまな分野の研究者に参加していただき、たいへんな盛会であった。今後も分野横断的な研究会を開催していきたい。

研究会の開催に先がけて、23日午前中に国立科学博物館研究部の収蔵庫・研究室の見学を行った。20名の参加者に、すばらしい収蔵施設と収蔵品を見せていただき、たいへん印象深いものとなった。案内をしていただいた国立科学博物館研究部の佐野貴司氏、宮脇律郎氏、川田伸一郎氏、門馬綱一氏に感謝いたします。

なお、研究会の準備にあたっては、共通セッションの進行役も引き受けていただいた、筑波大学西アジア文明研究センターの前田修氏、廣永尚子氏に多大な負担をおかけした。ここに感謝いたします。

出席者（所属略称）五十音順：

安間 了（筑波大）、池端 慶（筑波大）、石渡健太郎（東京都市大）、伊藤久敏（電中研）、伊藤一充（名古屋大）、伊藤理彩（東京大学）、上野 恵（加速器分析研）、小笠原正継（産総研）、大平寛人（島根大）、加藤 進（地科研）、勝部亜矢（産総研）、菊池 咲（筑波大）、小瀬村 隆（東京都市大）、昆 慶明（産総研）、坂田周平（京都大）、笹 公和（筑波大）、下岡順直（京都大）、柴田大輔（筑波大）、新正裕尚（東京経済大）、末岡 茂（京都大）、清家一馬（早稲田大）、高田亞以子（早稲田大）、高橋 努（筑波大）、田上高広（京都大）、竹内圭史（産総研）、谷 篤史（大阪大）、谷口陽子（筑波大）、田村明弘（金沢大）、田村 亨（産総研）、檀原徹（京都FT）、豊田 新（岡山理大）、鳥瀧一文（東京都市大）、中村祥平（東京都市大）、西村進（京都自然史研究所）、長谷川敦章（筑波大）、長谷部徳子（金沢大）、平田岳史（京都大）、廣永尚子（筑波大）、福田耕太（新潟大）、本多照幸（東京都市大）、丸岡照幸（筑波大）、南雅代（名古屋大）、三宅 裕（筑波大）、山口飛鳥（東京大）、山崎誠子（産総研）、山田隆二（防災科研）、山田重郎（筑波大）、山中千博（大阪大）、横山祐典（東京大学）、米岡拓実（筑波大）、若狭 幸（筑波大）（敬称略）

第37回フィッション・トラック研究会総会報告

2013年2月25日

文責：安間 了

1. 普通会員過半数の出席および委任状をもって、総会は成立した
2. 今年度の活動報告、会長・委員構成、会員の移動、原子炉の運行状況について報告した。
3. 2011年度の会計報告、会計監査報告を行い、承認された。
4. フィッション・トラック ニュースレター 投稿規定 細則第2項（掲載内容の種類）(d)の変更が原案通り承認された。
5. 2013年度の活動計画を提示し、承認された。

以下の方々からは総会に関わる委任状をいただきました。ご協力いただき、ありがとうございました。猪又 竜, 岩野英樹, 雁澤好博, 北田奈緒子, 笹尾英嗣, 檀原有悟, 中西 孝, 星 博幸, 松浦秀治, 村松敏雄, 森本祐一郎, 山下 透, 山田国見, 渡辺公一郎（敬称略）